評価事例　2

単　元　名	第５学年　Unit２　When is your birthday?
単元の目標	自分のことをよく知ってもらったり，相手のことをよく知ったりするために，誕生日や欲しいものについて，考えや気持ちなどを伝え合うことができる。 「話すこと［やり取り］イ」
言語活動	「相手が喜ぶように，欲しいものをバースデーカードに描いて贈ろう」という課題を設定し，学級の友達とバースデーカードを贈り合う。互いのことをよく知るために，誕生日や欲しいものなどを尋ね合い，尋ね合ったことを基に，バースデーカードを作成する。

評価の進め方

児童はペアを作り，ペアで誕生日や欲しいものについてのやり取りを行う。教員とＡＬＴは，やり取りの様子を見ながら分担して評価をする。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〈知識〉 月や日付，身の回りのものなどを表す語句や When is your birthday? My birthday is ～. What do you want for your birthday? I want ～.の表現について理解している。 〈技能〉 誕生日や欲しいものについて，上記の語句や表現等を用いて，考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。	自分のことをよく知ってもらったり，相手のことをよく知ったりするために，誕生日や欲しいものについて，考えや気持ちなどを伝え合っている。	自分のことをよく知ってもらったり，相手のことをよく知ったりするために，誕生日や欲しいものについて，考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。

思考・判断・表現の判断基準

Ａ：十分満足できる状況	「Ｂ」に加えて，既習の語句や表現を用いて，更に詳しく尋ねたり答えたりしている。
Ｂ：おおむね満足できる状況	誕生日や欲しいものを尋ねたり答えたりしている。
Ｃ：努力を要する状況	「Ｂ」を満たしていない。

評価例（Ｓ＝児童，Ｔ＝教員）

Ａとなる例	Ｂとなる例	Ｃとなる例
S1: When is your birthday? S2: My birthday is May 1st. S1: What do you want for your birthday? S2: I want a pencil case. S1: <u>What color do you like?①</u> S2: <u>I like red.②</u>	S1: When is your birthday? S2: My birthday is May 1st. S1: What do you want for your birthday? S2: I want a pencil case.	S1: When is your birthday? S2: My birthday is May 1st. S1: … T: 欲しいものを尋ねてみましょう。 S1: What do you …? T: What do you want for your birthday? S2: I want …
理由 S１は，誕生日や欲しいものを尋ねているだけでなく，①What color do you like?と，相手の答えに応じて更に詳しく尋ねている。 S2は，S１の質問に対して，誕生日や欲しいものを答えているだけでなく，①の質問に対し，②I like red.と答えている。 S１が相手の答えに応じて，What character do you like?と尋ねたり，S2 が I want a pencil case. I have many pencils.と自分のことを更に詳しく伝えたりすることも考えられる。	**理由** S１は，誕生日や欲しいものを尋ねている。 S２は，S１の質問に対して，誕生日や欲しいものを答えている。	**理由** S１は，誕生日を尋ねているが，欲しいものを尋ねていない。そのため，相手のことをよく知ることができない。 S2は，S１の質問に対して，誕生日は答えているが，欲しいものを答えていない。そのため，自分のことが十分に伝わらない。 「Ｃ：努力を要する状況」と判断した児童に対する指導や支援については，**「指導・支援アイデア集」**を参照

指導のポイント

・「相手が喜ぶように，欲しいものをバースデーカードに描いて贈ろう」と課題を設定することで，児童に目的意識を持たせる。
・多くの友達とやり取りができるように，バースデーカードを複数枚作成する。